

平成19年度 事業計画書（案）

自：平成19年4月1日 至：平成20年3月31日

I 基本方針

私たち青色申告会は、健全な納税者である青色申告者が自主的に組織したボランティア団体として昭和25年（1950年）にスタートして以来、半世紀を超えて青色申告制度の普及推進を通じて、我が国の税制の中核である申告納税制度の定着と健全で明るい納税思想の発展に積極的な役割を果たしてまいりました。

現在、我が国は、企業の低迷の原因だった設備・雇用・債務の「三つの過剰」の処理を進めグローバル化に適した体質に転換した結果、「いざなぎ景気」を抜いた、経済活動になっている。

いざなぎ景気では、個人消費は年率約10%増であったが今回は年率平均1.5%と鈍く、このあたりが私たちが恩恵を感じにくいところになっている。

また、私たちを取りまく環境では、「国税関係業務のシステム最適化計画」の推進、「公益法人制度改革の平成19年度スケジュール」は4月に前倒で公益認定等委員会の必要事項を定める予定と聞いている。

私たちは、「青色申告会」の社会的役割の必要性を深め、将来に向けて、国民一人ひとりの信頼に支えられた社会を維持、発展させていく上では、ボランティア活動による、健全な自主的納税者団体として一層活躍が必要と考えている。

平成19年度において（社）東京青色申告連合会と共同して、記帳指導の青色申告を自覚した健全な納税者団体としての社会的責任を果たすために、次の施策を強力に推進していきたい。

重点項目

- （1）青色申告制度の普及推進を通じて健全な納税者の育成を図り、納税者団体として公益活動の充実に努める。
- （2）一般納税者への税に関する啓発活動を高め関係民間団体との協調に基づく税務関係諸行事に積極的に取り組む。
- （3）e-taxへの対応など指導環境の整備と高度化を図り、地域社会からの期待に応え得る事務局指導体制の向上に努める。
- （4）（社）東青連三委員会再編成に伴い、当会の三委員会も再編成する。

II 事業計画

1. 総務・組織の充実に関する事業

- ① 青色申告運動の原点に立ち返り、年間を通じて充実した支部活動の基盤に立つ会勢拡大＝会員増強運動に取り組む。
- ② 組織の充実強化を図るため、後継者役員の発掘育成に努める。
- ③ 組織の充実と財政の強化を図るためブロック・支部・班の再編成に取り組み、支部財政及び、名称変更についても検討する。
- ④ 「公益法人改革」「個人情報保護法」を遵守し、我が会の諸規定、規則を継続審議する。
- ⑤ 青年部・女性部設立の理念を自覚した部活動の充実と組織の強化に努めるとともに、親会の活性化に対する役割について検討する。

2. 税制・指導の充実に関する事業

- ① 「記帳指導の青色申告会」として地域社会の納税者に対する青色申告の指導活動等に積極的に取り組む。また、国が計画する記帳指導事業に（社）東青連と協調して積極的に参画する。
- ② 記帳内容充実と記帳の高度化を図るために講習会・手書き複式簿記相談会及び、会計ソフトによる記帳相談会を本年も充実させる。マンツーマンによる相談に取り組むとともに青色申告特別控除65万円選択者の拡大を図る。
- ③ 国が勧めるe-taxの普及推進策に、納税者団体として積極的に取り組む。併せて、会員に対する勧奨及び、事務局における援助環境整備等について取り組む。
- ④ 平成21年5月までに始まる裁判員制度の内容について会員を対象に説明会を開催するとともに、平成19年度税制改正等についての相談会を開催する。

- ⑤ 記帳決算の相談ができる相談員の養成に本年より取り組む。
- ⑥ 確定申告期に東京税理士会江東西支部に派遣をお願いし、決算・申告・消費税相談を本年も同様に派遣を要請するとともに、役員の支援もお願いする。

3. 事業・広報の充実に関する事業

- ① 会員の既加入している「生命保険」「火災保険」「自動車保険」について見直しを勧め、未来的に充分か個別に比較検討ができる相談会を検討する。
- ② 会員福利厚生事業として「桜のお花見会」又は、「一泊研修旅行」を企画実施する。
- ③ 会員福利厚生充実のため、アローネットワークと連携を図り、各種制度の利用を勧めるとともに、特に「葬儀システムサービス」「リゾートホテルの割引制度」のピーアールに努める。
- ④ 好評の青色ドックを青色共済加入者はもちろんのこと一般会員にも広報し、受診者の拡大に努める。
- ⑤ 会員のお店、お仕事紹介の「青色コミュニティー」は、好評にホームページに掲載してありますが、さらに内容の充実と参加者の募集に努める。

4. その他の事業

- ① 青色申告運動の組織的な発展を図るため、青色申告者並びに会員の声を集成し、関係機関等に建議する。
- ② 税制改正・行政改革運動については、隣接会との連携を密にし、全青色・(社)東青連と歩調をあわせていく。